



西念寺だより 長月号



令和6年9月1日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027, 63-2912 FAX 0774-26-9683

秋のお彼岸が近づいて参りました

けふ彼岸 菩提の種も 時日かな

馬場存義 (江戸中期の俳人、松尾芭蕉の墓参の時に詠んだ俳句)

9月に入っても爽やかな秋が来たという実感は乏しいですが、壇信徒の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。今年の夏は正に異常な暑さとなりました。京田辺市では6月には近畿地方でトップを切って猛暑日となったり、観測史上最高となる40度を記録するなど、災害級と言われた厳しい暑さの日が続きました。

また、お盆前の8月8日に宮崎県で発生した日向灘地震で、南海トラフ地震の可能性が高まっているとして注意報が発表され、地震が起きな時の備えが十分か、ニュースでも繰り返し流れるなど、落ち着かない夏となりました。このような状況の中、十日盆や棚経等、お盆の行事も大過なく無事に終えさせていただき、篤く御礼申し上げます。

さて、お彼岸の由来についてはこれまでも何回か触れてきましたが、お彼岸にお勤めが行われた最初の記録は、桓武天皇の発願により国分寺の僧らが『金剛般若経』を誦したものになります。桓武天皇には、早良親王という弟がおり、早良親王は次期天皇の立場にありました。

しかし、当時の平城京で絶大な勢力を誇った南都仏教を政治から切り離れたかった桓武天皇は、東大寺の中枢にいた早良親王と政策が一致せず、次第に二人の間にはすさまじい風が生じるようになります。そのような状況下で平城京から長岡京への遷都を指揮した藤原種継が暗殺され、早良親王は乙訓寺に幽閉されてしまいます。

潔白を訴える早良親王は、やがて淡路国への配流される途中に憤死します。それ以後、桓武天皇の身の回りでは不幸が相次ぎ、都である長岡京でも餓死や洪水などの天災が相次ぎ、巷では早良親王の怨霊による仕業と専らの噂でした。

そこで、行われたのが春分秋分を中心とする七日間に『金剛般若経』の誦読です。これ以後、公家や武士の間で彼岸の時期に追善供養を行うことが盛んになり、今日のお彼岸に繋がったと言われています。

また、春分と秋分の日には太陽が真西に沈むことから、西方浄土を観想する日想観に適した時として、極楽浄土を願う人々によって盛んに行われ、鎌倉・室町期の公家や武士は、さらに説法の聴聞や持戒など仏道修行を合わせて実践していたことが記されます。

お彼岸には、大切な御先祖の供養と共に仏道修行(六波羅蜜の実践)の両面があります。冒頭の俳句はそのことをよく表しています。この句は江戸中期の俳人、馬場存義が松尾芭蕉のお墓参りをした時に詠まれたものです。

菩提の種とは「悟りに至るための糧」という意味、即ち仏道修行を指しています。

そして、お墓参りで詠まれたことから分かるように、お彼岸には故人を弔うとともに、仏道修行を実践するものという認識があったことがうかがえます。

間もなくお彼岸を迎えます。御先祖様の御供養をするとともに、今生かされている事に感謝し、六波羅蜜の仏道修行の実践に励み、充実した毎日をお送りいただければと思います。

裏面に続く



【秋のお彼岸日程について】

下記の日程で、秋の彼岸会を厳修いたします。
是非ご参詣賜りますよう御案内申し上げます。

19日(木) 彼岸の入り 午前10時～11時
・御回向賜りました方々の施主別回向

22日(日) 中日法要

- ・午後1時～お彼岸回向
- ・午後2時～大人のためのリトミック教室

皆様御一緒に楽しく身体を動かして、日頃の運動不足とストレスを解消しましょう。身体を動かした後は、静かにチェロの演奏をお聴きいただくなど、どなたにも楽しんでいただける内容です。

講師 リトミック講師、チェロ奏者 田中夕祈先生

- ・午後5時～ 田辺・一休ヶ丘戦没者慰霊法要

25日(水) 彼岸結願 午前10時～11時

- ・御回向賜りました方々の施主別回向 詳しくは別紙案内をご覧ください



昨年秋彼岸の様子

【相楽組檀信徒大会のお知らせ】

コロナの感染蔓延で中止されていましたが「相楽組檀信徒大会」が今年度下記のように開催されることになりました。

檀信徒の皆様方には何かとご多忙のこととは存じますが、浄土宗開宗850年を祝う慶讃行事でもございますので何卒御参加くださいますよう、御案内申し上げます。

- 1 日時 令和6年11月20日(水) 午後1時より4時頃まで
- 2 会場 木津川市山城町「山城総合文化センター」アスパシア山城
- 3 日程 12:00 受付 13:00 開式・慶讃法要
13:45 講演 14:45 コンサート
15:30 閉式 詳しくは別紙案内をご覧ください



【地藏盆について】

今年も夏休みの最後を飾る行事、「地藏盆」が各所で行われました。17日(土)を中心に参りさせていただき、誠にありがとうございました。

なお、お寺のお地藏様にも御供をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 菱田孝子様 匿名希望様 なかよし地藏様
- 深田地蔵様 一休ヶ丘自治会様 子安地藏様
- 新田辺西住宅自治会様 新田辺お地藏さんを守る会様 (順不同)



【院号料御寄進のお知らせ】

荻田廣康様より荻田キミ子様のお逝去に際し、院号(掛断)料の御寄進をいただきました。荻田キミ様はきれい好きで几帳面、カラオケや菊作りがお好きで、お寺にもよく参りいただきました。誠に有り難うございました

- ・院号(掛断)料 金35万円 為 浄徳院蓮譽香室君信大姉菩提(故 荻田キミ子様)
施主 荻田泰廣様

【永代祠堂金御寄進のお知らせ】

乾一代様より故栖川ハル子様のお逝去に際し、永代祠堂の御寄進をいただきました。栖川ハル子様は、般若心経のお軸を浄書されたり、お身体がご不自由になられてからもお彼岸やお十夜には必ず参りいただくなど篤信の檀信徒様であり、ご家庭では温厚で笑顔が絶えない立派な方であったとお聴きしております。

今後、施餓鬼法要にて永代供養を勤めさせていただきます。有り難うございました。

- ・永代祠堂料 金50万円 為 照譽妙春順信禅定尼菩提(故 栖川ハル子様)
施主 乾一代様